

志免四だより

平成28年8月
第77号

発行所
志免四公民館
志免町志免1丁目1-8
TEL 092-935-0466
責任者
志免四公民館主事
佐藤一男 (935-0858)



中学生交流会

育成部



中学生交流 バーベキュー

今回初めてバーベキューを行います。
中学生の皆さん是非参加してください。
※お手伝いできる生徒は16時集合
【日時】8月6日(土) 17時～19時
【場所】志免四公民館駐車場
【参加対象者】中学生
【問】中学部育成 松崎 ☎ 070-5410-5276

ソーメン流し

福祉部 食進会



豊夢部屋(ホームルーム)では夏恒例のソーメン流しと、食進会による親子クッキングを開催いたします。
▼内容
●ソーメン流し
●親子クッキング
手作りロールサンドを作ります。
(参加希望者はエプロン、三角巾を持参ください)

【日時】8月20日(土)
10時から
【場所】志免四公民館



子育て

福祉部



小さい子どもさんとその保護者の方、ぜひご参加ください。お天気が良ければ、ビニールプールで水遊びもありますので、水遊びの用意もお願いします。午前中は移動図書館もあります。一般の方もご利用ください。

【日時】8月9日(火)
10時～15時
【場所】志免四公民館

交通安全教室

総務部



高齢者・児童を対象にした交通事故防止と自転車の安全運転などを粕屋警察署より講師を招き実施します。
【日時】8月10日(水)
10時～12時
【場所】志免四公民館

うきうき

総務部

脳活体操でリズムや音楽に合わせて、身体を気持ちよく動かすことにより、脳の活性化を図ります。楽しみながら心身をリフレッシュしましょう！そして認知症予防につながります。皆様の参加をお待ちしております。

【日時】8月27日(土)
10時～12時
【場所】志免四公民館



6月25日のうきうきルームでは、24名が参加。70歳を超えたら、生活習慣病の予防より老化を遅らせる食生活に心がけ、またコレステロールやエネルギーを気にするあまり、野菜や魚介類ばかり食べるのは逆効果で、肉や卵そして、乳製品などもよく食べることが寝たきり予防になるなど、栄養士さんから話を聞きました。

石投げ相撲大会 参加者募集

育成部

【日時】9月4日(日)
午前9時より
【場所】岩崎神社土俵
▼参加対象者
小学1年生から6年生までの男の子を募集します。現在、稽古をしています。多数のご参加をお待ちしております。

【申込先】小松育成部長
☎ 080・1535・9802



町民ミニバレーボール大会選手募集

体育部

【日時】9月4日(日)
【場所】志免町民体育館
▼参加対象者
中学生以上の男性と女性を募集します。

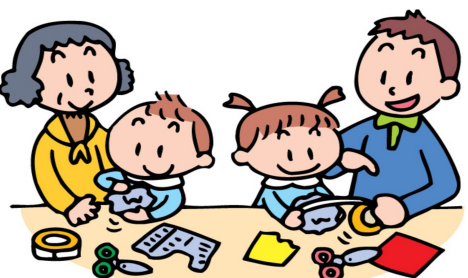
【申込先】吉村体育部長
☎ 090・4487・8968



子育てサロン

福祉部

7月12日10時より15時まで志免四公民館にて子育てサロンが開催されました。あいにくの空模様で楽しみにしていたプールでの水遊びができませんでしたが、お母さんと一緒に紙工作などで楽しく過ごしました。



スポーツフェスタ

体育部

7月3日(日) 10時から志免中央小学校体育館で参加者60名が集まり、スカットボールを楽しみました。
まず体育部吉村部長よりプレイの方法の説明を聞き三人一組で相手チームと二回対戦し、ゲームが始まると体育館は、熱気に包まれて楽しい時間をすごしました。
表彰式では、お米や扇風機が準優勝、優勝チームに贈られました。



ジュニアソフトボール大会

育成部

7月17日(日)にジュニアソフトボール大会が町民広場で実施されました。暑い中、選手たち10人は顔を真っ赤にして戦ってくれました。
1回戦の別府二との対戦結果は同点でした。2回戦は強敵誠和から4点をとりましたが、敗れてしまいました。
朝早くから応援して下さいた保護者や役員の皆様熱いご声援ありがとうございました。



土用の丑の日の由来

土用の丑にウナギを食べる習慣は、江戸時代の蘭学者「平賀源内」が、知人の鰻屋のために「本日、土用の丑の日」と書いて店頭に掲げ紙をしたところ、大繁盛したことが一般的に有名な起源説である。同じような説に、大田蜀山人が「神田川」という鰻屋に頼まれ、「土用の丑の日に、うなぎを食べたら病気になる」という内容の狂歌を作ったと宣伝したという説もある。



その他の説では、文政年間、神田泉橋通りにある鰻屋「春木屋善兵衛」のところに藤堂という大名から大量の蒲焼が注文され、「子の日」「丑の日」「寅の日」の三日かけて蒲焼を作ったが、「丑の日」の鰻だけが変質しなかったといった説もある。

『万葉集』の伴家持の和歌には「ウナギを食べて健康を維持しよう」といった内容のものがあり、当時、言葉自体は存在しないが、土用の丑の頃をさしているため、古くからの言い伝えを元に平賀源内や大田蜀山人がキャッチコピーにしたとも考えられる。

土用の丑には、ウリや梅干し・うどんなど、「う」の付く物を食べるというところもある。